

2018年原水爆禁止国民平和大行進実施要綱

2018年2月 行進事務局

1、2018年平和行進の意義

2018年原水爆禁止国民平和大行進は、60周年という重要な節目の年を迎えます。

1958年にたった1人から歩き始めた平和行進は、毎年たゆまなく続けられ、昨年7月7日、ついに国連での核兵器禁止条約の採択に結びつきました。禁止条約によって核兵器は明文上も違法化され、人類は核兵器廃絶に向けて歴史的な一歩を踏み出しました。核兵器のない世界の実現に向けて、唯一の戦争被爆国として禁止条約を支持し、調印、批准する日本政府を求める広範な世論のうねりを起こしましょう。

ことしの平和行進は、8月に広島と長崎で開催される原水爆禁止2018年世界大会を成功させるために、全国・県内通し行進者、国際青年リレー行進者を先頭に、被爆者とともに被爆国日本と世界をつなぎます。また、「ヒバクシャ国際署名」の共同の広がりも力に、すべての自治体で核兵器全面禁止・廃絶を求める国民的な行進にしましょう。

2013年国民平和大行進国際青年リレー行進者のマラヤ・ファブロスさんは、海外からの行進者が被爆者と出会い、交流できる機会があれば、被爆者の情熱を受け継ぎ、帰国してからひろめることができると、核保有国からの行進者が日本の草の根の平和行進者と肩を並べて歩くように呼び掛けています。すべてのコースで青年が参加できるように工夫しましょう。

いつでもどこでも誰でもが、一歩でも二歩でも参加できる平和行進を実現しましょう。

2、日程・コース

- ① 全国11幹線コース〔北海道→東京(4コース)、東京→広島、富山→広島、和歌山→広島、四国→広島、長崎→広島、宮崎→広島、沖縄→広島〕で実施します。出発日は、5月6日(日)東京→広島コース(夢の島)、北海道→東京コース(礼文島)。5月8日(火)和歌山→広島コース(新宮市)。5月6日(日)四国コース(宿毛市)。6月7日(木)富山→広島コース(朝日町)。6月3日(土)沖縄→広島コース(沖縄・名護市、6月10日[日]鹿児島・奄美市)。6月22日(金)宮崎→広島コース(えびの市)。6月28日(木)長崎→広島コース(松山公園)。
- ② 終結日は、東京=7月27日(金)、広島=8月4日(土)。
- ③ 全自治体を網羅する網の目平和行進をめざします。

3、主催

提唱=原水爆禁止世界大会実行委員会

主催=2018年原水爆禁止国民平和大行進中央実行委員会

4、名称

2018年原水爆禁止国民平和大行進

5、共通スローガン

※沿道の人々が共感できる呼びかけを共通スローガンとして提案する。

平和行進開始から 60 年、原水爆禁止のためにともに歩こう！

◇ 核兵器のない、平和で公正な世界を実現しよう！

国連が決めた核兵器禁止条約を支持しよう！

日本政府に核兵器禁止条約の調印を迫ろう！

ヒバクシャの核兵器廃絶アピールに署名しよう！ ヒバクシャを支援しよう！

◇ アジアと日本の平和を守ろう！

朝鮮半島での戦争絶対反対！ 核もミサイルも危険な軍事演習もやめさせよう！

「核抑止力」で平和は守れない！ 朝鮮問題は外交で解決を！

日本政府は憲法を守れ！ 9条を壊すな！ 戦争のための改憲反対！

沖縄の新基地建設反対、オスプレイ NO！ 軍事費削って貧困なくそう！

◇ 原発再稼働反対！ 原発ゼロを実現しよう！ 自然エネルギーに転換しよう！

政府・東電は原発事故被害を全面的に補償を！ ノーモア・フクシマ

◇ ノーモア・ヒロシマ、ノーモア・ナガサキ、ノーモア・ヒバクシャ、ノーモア・ウォー！

原水爆禁止 2018 年世界大会を成功させよう！

核兵器のない世界のために広島・長崎へ、ともに歩こう！

6、具体的とりくみ

<国民的な平和行進に>

- ① 核兵器禁止条約が採択された歴史的な機会を捉えて、日本政府に核兵器禁止条約への調印・批准を求めましょう。核兵器禁止条約採択 1 周年となる 7 月 7 日（土）の全国行動に呼応して取り組みましょう。
- ② 東京→広島コースをはじめとする 11 幹線コースと福島の被災地行進への参加と賛同を、これまでにない国民的なひろがりをもつ共同の平和行進として広範な団体と個人によびかけます。「いつでも、どこでもどなたでも、一歩でも二歩でもご一緒に」とよびかけます。全自治体を網羅する網の目行進をめざします。
- ③ インターネットやソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）を含むありとあらゆるツールを通じて日本と世界に働きかけます。これまで繋がりのない団体や個人でも参加しやすいよう、各地の行進スケジュールの公表や、行進ニュースの発行に取り組みましょう。中央実行委員会事務局が各地の行進参加者と協力し、国内、海外にも発信します。
- ④ 平和行進への共感をよぶアピール、一目でわかる宣伝の工夫を進めましょう。平和行進の歴史、取り組みの意義など、学習を強めましょう。2015 年原水爆禁止国民平和大行進のドキュメンタリー映画『一歩でも二歩でも』（有原誠治監督）DVD の鑑賞会に取り組みしましょう。

<国際青年リレー行進>

核兵器廃絶に向けた国際青年リレー行進の成功のために、準備段階から日本の青年に参加

を呼びかけましょう。すべての都道府県で国際青年リレー行進タスキも活用しながら、創意工夫を凝らしてリレー行進に取り組みましょう。2017年国際青年リレー行進写真集「私たちの歩いた平和行進」を普及しましょう。国際青年リレー行進参加者は、原水爆禁止 2018年世界大会の壇上でアピールしましょう。

<被爆者とともに行進をひろげる>

被爆者とともに歩き、行動する行進にしましょう。出発・集結集会で被爆者の訴えを広げましょう。沿道での「ヒバクシャ国際署名」、被爆者援護・連帯募金に積極的に取り組みましょう。

<すべての自治体を訪問し、自治体との共同をひろげる>

被爆者とともにすべての自治体を訪問して情勢の新たな変化を伝え、「ヒバクシャ国際署名」への自治体ぐるみの協力、原水爆禁止世界大会への賛同・参加、広島・長崎原爆被害展示組写真の購入と「原爆と人間」展の開催など非核平和行政の拡充・具体化を要請します。日本政府に核兵器禁止条約への調印・批准を求める意見書決議を要請します。

<中央リレー旗について>

昨年の取り組みのもとに、中央団体のリレー旗を積極的に出すことをよびかけ、(1)メッセージの入った旗やのぼりで沿道にアピールすること、(2)リレー旗とのぼりをいっしょに収納できるカバンを活用すること、(3)参加する団体にはそのカバンを含め、扱いに困らないものを活用することなど、事務局団体として「リレー旗取扱い事項」(別途)を今年も作成します。

7、通し行進者の募集

全国11の幹線コースに「通し行進者」を配置するよう努力します。また、全てのコースに「国際青年リレー行進者(国内外の青年)」の配置を呼びかけます。「歩く」ことで訴えることを基本としながら、地域のみなさんの努力を尊重し、共同の行進を求めます。県内の通し行進者を積極的に配置し、行進を盛り上げましょう。※通し行進者の募集は別途、定めます。

8、財 政

- ① 中央実行委員会の財政は、基本的に中央団体の参加分担金、協力金、都道府県実行委員会の協力金および事業活動などで運営します。
- ② 都道府県実行委員会、市区町村実行委員会の財政は、基本的に参加団体の分担金、協力金、自治体募金、沿道募金、事業活動などで運営します。
- ③ 国際青年リレー行進者支援の募金(100万円目標)を全国で取り組みましょう。

9、行進実行委員会の機構

実行委員会の機構として、①総会、②代表委員、③事務局団体、④会計監査団体を設けます。全国的な経験交流を目的として、都道府県代表者会議を総会と結んで開催します。 ※別途、定めます。

以上